



いるということです。その秘密はとたずねると、土地改良区の借入れを、政府機関の制度資金に求め、市はそれを税外収入として受け入れて舗装工事を行ない、改良区には借入相当額を市が補助金の形で毎年返済できるよう定めているといつたユニークな仕組みになっているということです。この市は既に五年も前からこのやり方を制度として定着させておりました。これを本市と比較すると、人口が半分なのに舗装費は毎年三倍も持っているという

けとめ、先進都市の苦悩の中から生まれた巧みな行・財政の運び方に学びつつ、そしてあらゆる贅肉をとりのぞき、より合理的な方向を今のうちに決定し、そうした中で住民要求にもとづく事業を進めようかつてゐることが、私たち地方議員に課せられた、当面の課題であると痛感いたします。

そして、香川自治会の事業計画を一層進展させるために、私なりに努力して参ることをお約束し、近況の報告に代えさせて頂きます

く、それには早い程よいといふことになりました。

内容は広範に渡りましょうが、一応次のことがらに関連することになろうかと存じます。

一、香川の環境

二、香川の社会機構と生活文化

三、道路と交通

四、名所・古跡（伝説その他）

五、香川の歴史

古文書などの資料は、香川に永住されてきた旧家四十五名の方々がし出してもらい、資料を調査させていただくよう、八月初旬に

私はさきごろ数日間市議会の同  
志議員と共に行政視察に参加しま  
した。視察の結果はきわめて有意  
義な収穫を得たということを、先  
づ申しあげます。

惠を集めて  
よい町に！

香川自治会は、年次急逝者を発展をとげており、当年四月現在、その世帯数一七八三世帯となりました。増加する会員のよりよ生活性環境づくりのため、会員の意向をくみ、前年度の引継事項も加味しつゝ、本年度の重要事項を十分検討の上、活動方針及び事業計画を年度当初において立てました。これに基き、九月上旬に市費施行にかかる環境整備事業に対して当局に希望書を提出しましたが、その内容は次の通りであります。

\*\*\*\*\*

(1)	香川四〇六二番地より木村屋
(2)	香川三〇五六番地間
(3)	香川二八二番地より二八〇番地をへて西へ二九〇番地間
(4)	香川五〇六番地より東へ一七〇m
(5)	香川三三四番地より南へ一八〇m
(6)	香川二四三番地より一、二三〇番地をへて北へ一三一九〇番地間

3.	(6)
良工事	香川七〇五三番地西側改
一ヶ所	香川二九五番地より北へ
二九〇番地間	香川八〇二番地及び七〇四番
(8)	地に消火栓設置
(9)	一、三八七番地間
(7)	一、二四六番地間
(8)	二、三八六番地より西へ
(9)	三〇〇m
(7)	一、二四六番地間施行方法検討
以 上	二、三九番地より南へ
消防關係事業	五〇m
香川八〇二番地及び七〇四番	一、二四六番地間
地に消火栓設置	一、二四六番地間

地域住民の親睦と協力を期すためには大変大切なことと存ります。そこでさしあたり、最近における約三十年の変せん経過を中心とした香川のあゆみを冊誌とし、五年年間に完成を予定して編さんしようとすることです。

編集委員会は六月に第一回の会合をもち、次のように定りました。

委員長一名・副委員長二名のもとに資料収集部・編集部及び校正部の三部門をおき、それぞれ活動することになり、その後数回の会合で、最も困難と思われる資料収集には、委員会三千円をもつて、

5年度自治会活動状況

# 香川ニユース

第 37 号

編集発行  
香川自治会  
広報委員会  
(有)三邦タイブ  
0467(85)1667

(7) 番地間 番地 香川 八〇四番地 より八二四 m  
番地間

## 香川のあゆみ』の 編集について

要請いたしました。現在編集委員が手分けで、その方々を訪問調査中です。また文書とは別に、先代から語り継がれた話しどか、若い頃の記憶などを聴くため、古考の方にお集り願つて、いろいろ語つていただき会合も開催いたしました。

内ごきに迷は自分たちの住よい町にするため  
い会意ましまし感。各人が注意し合つて、他人め  
°長見しようならぬよう、生活してゆく  
又。ご希望の希望の会員にお尋ね下町

## 公民館建設について

香川自治会は長年にわたり、公

民館の建設に志してまいりました。現在の会館は駅の近くにあります。が老骨化しておおり、かつ敷地の問題では会館前の坂田美弥次氏の所有の土地であり、以前から返却を申し込まれており、長い歳月無理押しに貸りて参りましたが、一昨年に至り再度話が出て、五二年度には開け渡す契約となつております。そこで当自治会としては特別委員会に委嘱して、公民館建設につき種々検討を進めて参りました。なかなか適当の敷地が見つからず一帯に短し、たすきに長しのたたえの如く、毎年苦労の種でしたところが幸いにも本年八月に香川一、二三〇番地(亀井精一氏のご好意にて、諏訪神社南方一〇〇c.m.地點の道路に面した田園地、香川二〇番地に敷地面積一〇六坪(三五〇m<sup>2</sup>)なる土地を公民館敷地の為なら貸してもよろしいとの申し出がありました。



香川地区  
体育大会終る

去る九月二八日午前八時三十分より、例年の行事である香川の運動会が、小学校で繰りひろげられ秋の日ざしを全身に受け、健康の美を校庭一ぱいに競い合つた。全種目三一種目で、最大の呼び

市スポーツ公園で開催された、第  
一回茅ヶ崎市市民陸上競技大会に  
香川地区選手として出場され、は  
えある優勝の栄誉を勝ち取られた  
方々をお紹介すると共に、まことに  
すのご奮闘をお祈りする次第です  
大久保洋一氏 三〇〇〇m 優勝  
比留川 豊氏 一〇〇〇m 優勝  
二種目共四〇歳以上の選手とし  
て出場された方々です。

市民陸上競技大会の成

ものは町内会対抗です。1.綱引き  
2.ボール運び、3.二人三脚、4.年令別男女別リレーの四種目であり、各町内会長を始め役員と共に、町内会選手が満身の力でぶつかった結果、次の順位となつた。

科 目	予 算 額	前 年 度 決 算 額	摘要
修 繕 費	260,000	108,240	消防車庫改修費
備 品 費	50,000	71,310	防犯灯修繕費
燃 料 費	30,000	22,780	公民館プロパンガス、灯油
雜 費	300,000	274,576	公民館電話料、水道、清掃、火災 保険、茶代、役員交通通信費 役員組長記念品代、祝金他
(小) 計	3,195,511	2,295,876	)
〔事 業 部 費〕			
文 化 厚 生 木	80,000	73,285	
土 報	40,000	47,080	
広 衛 生 防	170,000	152,000	
消 通	200,000	182,132	
公 民 館 建 設 委 員 會	304,000	270,000	
(仮称) 香川の あゆみ編集委員會	15,000	12,000	
	30,000	18,900	
	200,000	0	
(小) 計	1,039,000	755,897	)
〔町 内 費〕			
第一 町 内 会	50,000	35,580	
第二 "	50,000	41,030	
第三 "	50,000	19,190	
第四 "	50,000	63,330	
(小) 計	200,000	159,130	)
經 常 費 計	4,434,511	3,210,403	
特 別 積 立 金			
公 民 館 建 設 資 金	100,000	100,000	
消 防 非 常 準 備 金	20,000	20,000	
(小) 計	120,000	120,000	)
予 備 費	471,107	828,707	
總 合 計	5,025,618	4,159,110	

大胡悦子  
七夕やえくぼ変わらぬ女と会う  
夏足袋や帯解く妻の軽い酔  
美しく老いたし古稀の更衣  
梅雨近う文鳥死にしかが残り  
一の谷緑迫りて水青し  
梅雨明けて干物うれし主婦の声  
沓沢みや  
休診日竹ひつそりと皮を脱ぐ  
夏帯を小さく結びて母健やか  
舌先にもてあそばせて水羊羹  
梅雨晴雲脚遠く山の峯  
貝の指輪妻の小指に星祭る  
ぎしぎしと今柩出づ薔薇の門  
百合子  
田を植えて苗の高さの風生る  
皮を脱ぐ竹の向うを大過ぎる  
泰山木の花の真上の夜になれず  
無縁仏となりし安らぎ批把実る  
山赤く画く児梅雨の保育園  
竹皮を脱ぐ音たてて青き風  
◆お知らせ◆  
祭礼用ハンテンご希望の方は、  
ぜひご連絡下さい。実費貰ひ0円  
香川(八二)一九五七三(亀井)  
(五一)一九四八五(熊沢)

平塚司郎  
二度刈つてあとのさらつく路畠  
サボテンの飛び付きて花開きけり  
鉄砲百合薄暮の白の花かな  
植え進む田に何もかも映りけり  
金龜子の愚かな薄羽納まらず  
亀の子の糸伸びきつてうらがえる  
柳田ふじ子  
梅雨明けも間近祭の太鼓聞く  
青蛙孫と見に行く梅雨晴間  
閉ざされし雨戸幾日梅雨続く  
夫と娘の帰り待ちわぶ梅雨の夜  
物干せば鳥も囁く梅雨晴間  
ゴキブリに怒り打つけ梅雨の夜  
長島久江  
ほろ酔いの顔なでゆく青田風  
ままごとの母が泣いてる花石榴  
学校中柴陽花ばかり参観日  
梅雨夕焼路地の豆腐屋追いかける  
梅雨雲無表情なる改札夫  
雜踏を抜けて花咲く泰山木  
くり返す朝戸夕戸や松の花  
あじさいの青葉の奥の一尽の闇  
うたた寝の山が傾く走り梅雨  
つばくろや又青い目の僧に逢い  
梅雨の駅鳩は故郷を持たぬ顔  
青すだれつづましく生き無表情

昭和五十年度収支予算

香川自治会

50.5.1

茅花合

三

## “最新型消防車”

四月	一才	船見	イワ殿
五月	一才	第二町内	四四組
六月	一才	赤羽	二郎殿
七月	三〇日	小笠原ミヨ殿	
八月	一九日	寺門	明殿
九月	五〇才	第四町内	九組
十月	七〇才	第四町内	一六組
十一月	二三日	第四町内	一四ノ一組
十二月	才	田中惣一郎殿	
年終	第一町内		
	一四組		

計報

火事は己のゆ断から  
慣れた火に新たな注意

我々が入団以前より使用されていました、旧消防車ダイハツ・ハイラインは香川分団にて昭和三十八年に購入された車です。足かけ十三年間よく働いてくれました。車検切れに伴いこのたび市当局及び香川自治会各位の深いご理解により、九月十五日には車庫の修理や火の見などの補修も終りましたので、十月二日に消防本部にて支給式をおえ受け入れて参りました。この新型消防車はトヨエースで、乗車定員は十名であり、受信設備等も設置されたもので県下でも最新鋭車であります。これから秋冬と寒さに向い火気を使用する機会も多くなり、火気使用の器具も復雑多種に成って参りました。

ご家庭の皆様もその取扱に十分ご注意下されて、大切な財産を火災から護られるようお願いします。